

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

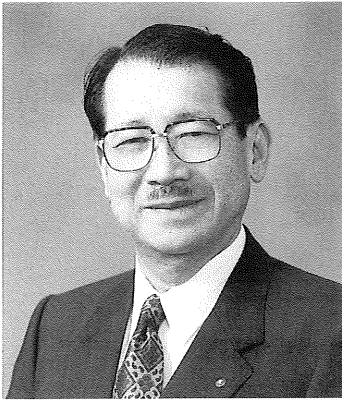
1996年10月20日 No.5

ロータリー財団月間 11月



名古屋東山ロータリークラブ創立総会





“11月はロータリー 財団月間”

1996～’97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松本 宏

ロータリー財団の使命は、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、世界理解と平和を達成することです。人道的プログラムには同額補助金、保健・飢餓追放および人間性尊重（3-H）補助金、ポリオ・プラス、ロータリー・ボランティア補助金、世界社会奉仕カール・ミラー補助金、ロータリー平和プログラムが含まれ、教育的プログラムには、ロータリー国際親善奨学金、開発途上国で奉仕する大学教員のためのロータリー補助金が含まれます。1997-’98年度からジャパン国際親善奨学金が3ヶ年の試験的プログラムとして日本の地区に対してDDF選択として承認されました。

また1991-’92年度から「シェア・システム」がスタートしています。このシェアの意味は、①ロータリアンは結束の精神で、世界中のロータリアンとその財産をシェア（共有）する。②財団管理委員会は、意思決定権の一部を地区にシェア（分与）する。③ロータリアンは、財団を通じて世界中にロータリーをシェア（分かち合う）することです。

一般寄付の40%が国際財団活動資金（WF）に、60%が地区財団活動資金（DDF）に分割され、DDFは3年後地区プログラムのために「支出」使用されます。

年次プログラム基金で、ロータリー財団は、活力と活動を保持することができます。そして私たちは、プログラムを実施し、活動を遂行し続けることができます。一方恒久基金は、国際ロータリーの奉仕の未来、私たちの愛する財団の恒久性を保証します。財団を「自分たち

のものに」することは、寄付の増進とともに、財団プログラムを理解して積極的に参加していくことにあります。

ここでロータリー財団活動が如何に有意義な活動をしているかの例を示したいと思います。

1) 本年6月23日カナダ・カルガリーで開催された第87回国際ロータリー年次大会において、1996年ロータリー国際理解賞を受賞された国連難民高等弁務官、緒方貞子さんは、1991-’92年度ロータリー財団奨学金を受領して、ワシントンDCのジョージタウン大学で国際関係学を専攻されました。東京RCによりスポンサーされた奨学生でした。緒方さんは表彰式で「今私が歩んでいる道は、ロータリーが選んで下さったようなものです。奨学金を頂いて米国へ留学することがなかったならば、国際関係を専攻することはなかったでしょう」と述懐されました。

2) ポリオ・プラスプログラムについて、西暦2005年までに、この地球上からポリオを根絶させるために世界中のロータリアンが寄付した資金（4億ドル）と現物拠出及び国際ロータリーによる膨大なボランティア隊員の動員によって、ポリオの免疫接種事業が国家レベルにて実施され、ポリオ根絶事業の成功に貢献しています。1985-’95年末までに、ポリオ免疫接種を受けた子供の数は約10億人、中国およびインドを含む51ヶ国において実施されました。その結果、ワクチン投与地区でのポリオ発病者は激減しました。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

“ロータリー財団を支援することによって、未来を築きましょう、



ロータリー財団月間を 迎えるにあたり

地区ロータリー財団委員会

委員長 矢島 茂

まずもって、地区ロータリー財団活動に格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

R財団の目的は、世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を資金面で支援することです。ロータリアンから寄せられた浄財は、ポリオ・プラス、3H（保健・飢餓追放・人間尊重）、同額補助金などの人道的プログラム及び国際親善奨学金に代表される教育的プログラムに授与され、世界で最も大規模かつ国際的な大事業を推進しているのであります。

R財団月間にあたり、改めて財団の重要性を認識いただき、ロータリアンの好意と友情をもって財団のご支援をお願い申し上げます。

1) 地区財団の寄付目標

前年度の実績（暫定）は、年次寄付594,903ドル（世界515地区中8位）、指定寄付6,394ドルに恒久基金寄付59,435ドルを加えた寄付総額は660,732ドル（世界11位）であり、当地区の拠出額は世界の上位にランクされています。しかしながら、RIのデータによると当地区の会員数は6,160名であり会員1人当りにしますと年次寄付は96.58ドル、寄付総額は107.26ドル、ベネファクターは104人に1名となり、前年度目標の年次寄付1人当たり104ドル、ベネファクター50人当たり1名には今一步及びませんでした。

この前年実績を踏まえ、ジャイRI会長方針である漸増でコンスタントな寄付要請に基づき今年度の地区財団寄付目標は

年次寄付 会員1人当たり105ドル

恒久基金 会員50人当たりベネファクター1名であります。財団への今後一層のご支援をお願い申し上げる次第であります。

2) 国際親善奨学金50周年

1947年春、世界理解と平和を増進するための奨学金プログラムが創設されてから、1997年は50周年を迎えます。

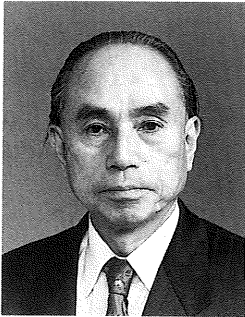
ロータリー財団管理委員会は、この50周年を契機に財団の国際親善奨学金についても、国際ロータリーのプログラムと強調事項に歩調を合わせるよう指導がありました。すなわち、飢餓追放、環境保全、薬物濫用防止、識字率向上及び高齢者への思いやりを研究分野とする留学候補者を推奨すること。紛争解決や平和の分野を望む候補者には、1997～'98年度50口のポール・ハリス記念奨学金を全世界競争制で授与することがその一例です。

R財団は、国際ロータリーのロータリー財団であり、単に奨学金で留学するのではなく、将来世界理解と平和に寄与できると思われる人物を国際親善奨学金候補者とするのが求められてまいったのであります。

3) 認証に関する重要決議

ロータリー財団管理委員会は、各クラブが保有しているクレジット額、各クラブへ送られた認証報告の“Available for PHF/SM”欄に記載された額は、3年間資金サイクル内で適用がない場合消滅することが決議されました。このクレジットは、別の人物をPHFとして指名できるのですが、殆んどどのクラブは蓄積されて残っております。1994～'95年度までに蓄積されたクレジット額は1997年6月30日をもって消滅しますが、クラブ創立以来の寄付実績などに影響はありませんので周知方お願い申し上げます。

ロータリー財団奨学金について



地区ロータリー財団
奨学金(小)委員会
委員長
長谷川 二郎

ロータリー財団奨学金委員会に対しての御協力に対し感謝致しております。

財団奨学金は当地区では1年または2年間研修あるいは学位取得のため外国へ留学する方に与えられております。ただ単なる外国留学ではなく、国際親善使節としての責務も負って頂く大きな目的があります。

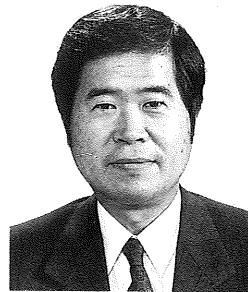
したがって、学識、教養、品位、指導力、社会性ともに整った人材を多くの方から選ばねばなりません。年々応募者が多くなっており喜んでおりますが、それだけに人選もまたいろいろと厳しいものがあります。

本地区からは優秀かつ文学、経済、法律、理学、工学、芸術あらゆる分野の方が選ばれておりますが、希望される国、大学もできる限り広範に選んで頂きたいと思えます。

1998年～1999年度派遣奨学生については1996年11月中旬までには募集要項が公表されますが、1997年5月下旬頃に面接テストが行われる予定です。従来と比べ大きな変更はないと思いますので今から優秀な人材の推薦を心がけて頂ければ幸いです。

資格、語学力、留学先を始めとし書類の整備などについて応募者を御指導頂きたくお願い申し上げます。

ロータリー財団学友会について



地区ロータリー財団
学友会(小)委員会
委員長
梅村 東

ロータリー財団学友会は各地区の推薦でロータリー財団奨学生として諸外国で学問を修了された学生、つまりOB又はOGで構成された組織です。

学友会は基本的に「元ロータリー財団国際親善奨学生」と「元研究グループ交換(GSE)チームメンバー及びそのチームリーダー」から成り立っています。そしてこの学友の目的は帰国後の学友同士の交流と親睦を深め、更に今後国際親善奨学生として各国に派遣されている方々に多方面にわたってアドバイス又はサポートして行くことにあります。奨学生の場合は奨学生として地区から推薦され参加することが決まった時点で自動的に学友会に登録されます。留学終了後、学友会のメンバーとして本格的な活動に入ることになります。現在1997年度合格者14名を含め古橋代表幹事はじめ237名の学友で構成されております。主たる活動につきましては①新奨学生のためのガイダンス及びオリエンテーション②新奨学生地区大会への参加と紹介③学友総会並びに奨学生壮行会④学友のロータリープログラムへの参加⑤ロータリー財団奨学制度のPR⑥学友名簿の作成と維持管理などがあります。今後ともロータリー財団奨学制度を通じて益々の学友会の発展と奨学生及び学友の皆さんのご活躍を祈念するとともにスポンサークラブカウンセラーを通じて学友と各クラブ、ロータリアンの交流を推進し奨学生の貴重な体験をロータリーの活動を活気づけるべく活用するよう努力してまいりたいと思えます。今後ともよろしくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

1997～'98年度

ロータリー財団奨学生のガイダンス

日時／平成8年8月4日(日)

会場／名古屋毎日ビル国際サロン

地区ロータリー財団学友会(小)委員長 梅 村 東



〈ガイダンス次第〉

1. 開会 2. 地区役員、並びに学友出席者の紹介 3. 松本ガバナーご挨拶 4. 矢島R財団委員長ご挨拶 5. ガイダンス (I) R財団について、矢島委員長 (II) 奨学金について、長谷川(小)委員長 (III) 学友会について 梅村(小)委員長 6. 奨学生自己紹介 7. 財団学友からのアドバイス 8. 質疑応答 9. 地区役員からのアドバイス及び激励 10. 閉会

1997～'98年度R財団奨学生のためのガイダンスが松本ガバナー、矢島R財団委員長はじめ地区役員9名と、下村、伊藤両幹事他8名の学友並びに12名の奨学生の皆さんの出席を頂き開催されました。松本ガバナーより「R財団奨学生の皆さんにおかれましてはその目的でありますロータリー精神にのっとり国際理解と親善の両面に

わたってしっかりと勉強して頂き現地におかれましても充分健康に留意され有意義なカレッジライフを過ごして頂くよう期待致しております」とのご挨拶を頂きました。又矢島委員長からはガイダンスの概要、意義そして奨学生の皆さんの近況などについてお話があり、質疑応答を通じて是非有意義な会にして頂きたいと激励され



ました。引き続きガイダンスに入り矢島R財団委員長、長谷川奨学金(小)委員長、梅村学友会(小)委員長よりそれぞれの立場からその内容活動状況について説明が行われ併せて奨学生に対してアドバイスがなされました。

続いて当日出席された10名の学友の皆さんから自己紹介を兼ねて各々の体験に基づいての話、あるいは質問に対しての応答がなされました。学友の皆さんのお話は体験に基づいているだけに大変興味深く奨学生の皆さんにとっては大変参考になったようです。会を通じて奨学生の皆さんが活発にそして且つ真剣に学友の皆さんとそして又、地区役員の皆さんと意見のやり取りが行われ大変有意義な会になったことと思われます。

最後に地区役員の方々から奨学生に対し激励の言葉が贈られ会が閉じられました。



公式訪問だより

●尾西ロータリークラブ



●平成8年9月2日(月)

●尾西信用金庫本店6F

●会 長 金森安石^{あんせき}

●幹 事 横山 弘

●会員数 63名

クラブ創立42年全国有数の毛織物生産を立地の基盤として木曾川の清流沿いに発展し人口5万有余の小都市ながら活気にあふれ、クラブも長老、中堅を中心にまとまっています。国際面では台湾水里扶輪社と姉妹クラブを締結、年1回相互訪問を実施し国際親善と友好につとめています。WCS海外研修には毎年5人程参加し本年も参加予定、会員相互の親睦には特に力をいれ毎年1泊か2泊の家族旅行を実施しています。

●名古屋ロータリークラブ



●平成8年9月3日(火)

●名古屋観光ホテル

●会 長 小川 進

●幹 事 島本彦彦

●会員数 222名

当クラブは、70年以上の長い歴史と伝統が特色となっています。いかなる場合でも例会変更をしない当クラブですが、唯一の変更は忘年家族会の日であります。この日は昼の例会が夜に替ります。この忘年家族会も、会員数が多いため、毎年、親睦を深めるためのいろいろな企画がなされております。今年は特別企画として、映画音楽コンサートを行う予定です。一年近く前から企画したもので、今から楽しみにしております。

●小牧ロータリークラブ



●平成8年9月4日(水)

●名鉄小牧ホテル

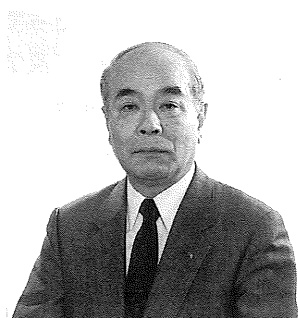
●会 長 玉置政利

●幹 事 菊地鐵明

●会員数 69名

前年度の地区協議会のホストにつづいて、今年度はIM開催及ローターアクト設立10周年の年であり、次年度は30周年を迎えるというこの3年間はクラブにとっても会員にとっても大変充実した時期であります。その為にも会員減少に歯止めをかけ、会員拡大に力を入れております。また今年度のテーマの1つ、新世代会議をきっかけとしてインターアクト設立に意欲を燃やしている所です。

●豊田ロータリークラブ



●平成8年9月5日(木)

●ホテル豊田キャッスル

●会 長 浦野正二

●幹 事 大矢金陸

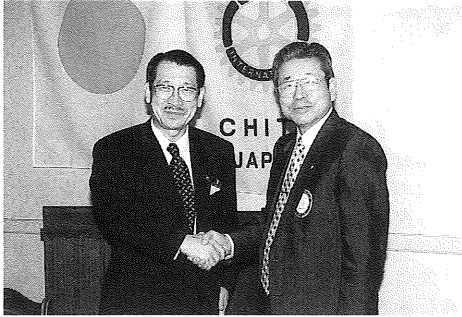
●会員数 98名

“規範を意識しよう”

次の世代を準備するためには、過去50年の日本社会を謙虚に顧み、成熟した社会が、人間として当たり前のことが、当たり前に行なわれる社会であることの認識に立って、ロータリアンの意識の改革を企ることが諸活動の基本的理念と合意し、その理念を地域社会に及ぼすべく努力をする。

公式訪問だより

●知多ロータリークラブ



- 平成8年9月9日(月)
- 会 長 稲山達弘
- じろきん本店
- 幹 事 村上茂登
- 会員数 47名

わがクラブは来年、創立10周年を迎える新進のクラブで、自由闊達、民主的な雰囲気溢れ、会員間の友情、相互理解もスムーズに運ばれております。

今年度は、尾張第一分区のホストクラブとして、IM開催を担当しますが、実行委員長を始め、会員一同、準備に張切っております。

●西春日井ロータリークラブ



- 平成8年9月10日(火)
- 会 長 守野暢洋
- 東海銀行枇杷島支店2F
- 幹 事 森田堅一
- 会員数 61名

当クラブの本年度の重点事業は、社会奉仕委員会によってチャリティーバザーを行ない、身体障害者の団体に寄付をする事と、国際奉仕委員会で、姉妹クラブである台湾の「永和ロータリークラブ」の20周年記念式典に家族会として参加をするために、30名～40名程で台湾を訪問する事です。

●一宮中央ロータリークラブ



- 平成8年9月11日(水) 夜
- 会 長 渡辺邦夫
- 一宮商工会議所3Fホール
- 幹 事 倉地伸幸
- 会員数 72名

『メーキャップ・ニコBOX』の活用

1995～'96年度に採用された、ビジター会員による「メーキャップニコBOX」収益金20万円余を、本年度に引継ぎ、早速、社会奉仕に役立たせる為に「環境保全委員会」の立案により、当クラブ設立以来継続している緑化事業の一環として、一宮市公明寺緑地公園に「木製ベンチ」二基を寄贈した。

●豊橋ロータリークラブ



- 平成8年9月12日(木)
- 会 長 松井英治郎
- 豊橋グランドホテル
- 幹 事 青木公貞
- 会員数 132名

ガバナーの掲げたターゲットにそって、本年度の当クラブテーマは「プラス1思考 プラス1行動——心のかよう楽しい例会——」とした。47年という豊橋クラブの歴史の中で、数多くの諸先輩の努力によって築き上げられた格式と伝統を大切に、明るく充実したクラブ運営を心掛けてゆきます。

公式訪問だより

●名古屋港ロータリークラブ



- 平成8年9月13日(金)
- 会長 渡辺重夫
- 名鉄グランドホテル
- 幹事 深谷友尋
- 会員数 130名

名古屋港RCは創立30周年を越え、チャーターメンバー5名の方々が健在で、国際ロータリーの基本理念と当クラブの伝統を尊重しつつ自由で活動的なクラブであります。

本年はジャイRI会長の提唱されている「新世代会議」を名古屋西、名古屋名駅、名古屋西南の4クラブ合同で、21世紀に向けて理想の社会創造の為に、「今何をすべきか」をテーマに青少年の希望や夢を語り合い、彼等の抱える諸問題について話し合うフォーラムを開催します。

●犬山ロータリークラブ

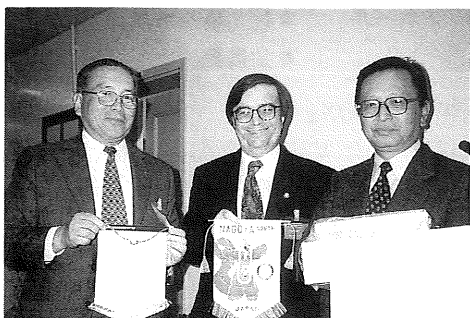


- 平成8年9月17日(火)
- 会長 伊藤英男
- 名鉄犬山ホテル
- 幹事 日比野良太郎
- 会員数 78名

8月3日から7日までの4泊5日犬山RCと姉妹クラブであります台湾草屯RCへ、ボーイスカウト21名と会員7名が訪台を致しました。

青少年海外派遣隊は今回が13回目を数え、草屯市の童子軍の皆さんと交流をして大きな感動を得て帰国してまいりました。ホームステイの家族の暖いおもてなしに全員感激を致しました。

●名古屋南ロータリークラブ



- 平成8年9月18日(水)
- 会長 服部栄三
- 名古屋観光ホテル
- 幹事 岩田庄平
- 会員数 121名

名古屋南ロータリークラブは、今期創立40周年を迎える歴史と伝統のあるクラブです。当クラブには、長期ビジョン協議会があり、クラブの中長期的な視点に基づき、会長に具申します。サンパウロ南ロータリークラブとの姉妹提携を実現し、現在このクラブとの“マッピング・グラント・プロジェクト”を行っています。その他にも、留学生への住宅補助、フィリピン・セブ島への物資の提供等、奉仕活動は活発です。

●安城ロータリークラブ



- 平成8年9月20日(金)
- 会長 植村律保
- 碧海信用金庫本店3F
- 幹事 廣村尚文
- 会員数 91名

年度始めの7月21日に、松本ガバナーを始め総勢530有余名の参加を得て、第7回国際ロータリー第2760地区インターアクトクラブ協議会を開催し、盛会裡に幕を閉じることが出来ました。この協議会を通して、参加者が友情の輪を広げ、奉仕の理想を再認識し、新たな奉仕の実践が生まれるものと確信致しております。

公式訪問だより

●名古屋東南ロータリークラブ



大高緑地公園清掃

●平成8年9月26日(木)

●名鉄グランドホテル

●会 長 吉水正溥

●幹 事 鈴木雅雄

●会員数 84名

私共のクラブは四つの合同委員会があり情報交換を行い各委員会の活性化を図っています。又毎年5月末に県営大高緑地公園内の清掃530クリーン運動を会員の奉仕で行っています。特色としては、クラブ創設以来会員家族との交流親睦を深めることが盛んで、年4回の家族会の出席多く、又世界大会に20名以上参加しています。

●新城ロータリークラブ



●平成8年9月27日(金)

●新城市商工会館
3F大会議室

●会 長 下嶋正秀

●幹 事 細田周一

●会員数 68名

本年度重点目標

1. 創立30周年記念行事を全員参加で成功させよう。
2. クラブ内の親睦を深め、全員の質を高めよう。
3. クラブ活性化のため、継続的に会員を増強しよう。
4. 次世代を担う青少年を育成し、海外友好クラブとの国際交流をより一層深めよう。
5. 社会奉仕活動プラス1として、環境保全とRCC（地域共同隊）に積極的に取り組もう。

●奥三河ロータリークラブ



●平成8年9月28日(土)

●奥三河総合センター

●会 長 伊藤寛祥

●幹 事 金田淳二

●会員数 38名

奥三河クラブは愛知県の北東の山中にあり、いわゆる過疎地域であります。例会に一時間もかけて出席する会員もいます、隣接クラブへ行くのには近い人でも30kmは走らなければなりません。しかし、国際交流は関心もあり、本年度はスリランカへ幼稚園を寄附しようという機運がもりあがり、着々と準備を進めています。

●名古屋栄ロータリークラブ



●平成8年9月30日(月) 夜

●名古屋クレストンホテル

●会 長 青井昭弘

●幹 事 北原兼男

●会員数 83名

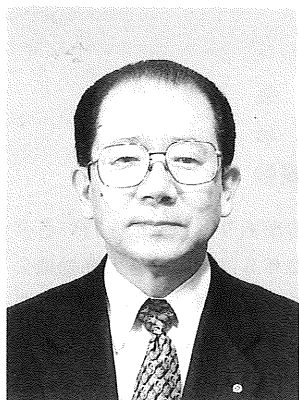
1990年4月16日に創立会員53名でスタートした、わが名古屋栄ロータリークラブは7年余りで83名にまで拡大し、着実に成長と充実を続けております。

①夜間例会であること

②平均年齢が若いこと が当クラブの

2大特色であり、この特色から自然と親睦活動が活発です。

クラブスタート以来の伝統方針である「友情と和をモットーにお互いに品格を高め、先達の歩みに敬意を払い、更なる発展を目指し、未来を築こう」は親睦活動の活性化と共に着実に実行されています。



『2000年までにポリオ根絶の世界を目指す』

地区ポリオプラス(N)委員会

委員長 黒谷尚弘

1985年以来、全世界のロータリアンは一つの夢……世界中の総ての子供たちを残酷で、障害をもたらす病気、ポリオから守るという夢の実現に向けて努力してきました。

昨年度は、地区内ロータリアンの暖かいご支援のお陰で、インドへ防疫エプロン費用として50万円を、又ネパールへワクチン運搬用ランドクルーザーと広報用バナーの購入用として460万円を支援することができました。

R.Iポリオ・プラス・パートナープログラムのH・ウィリアム・アイブス委員長より、皆様に礼状が届いておりますことをご報告致します。

昔、日本でもポリオにかかる幼児が多い時代がありました。

ポリオは別名『急性灰白髄炎』といって、ポリオウィルスが脊髄神経の灰白質を冒す病気で、感染の初めは風邪のような症状を見せ、そのうち足や腕が動かなくなる。いわゆる小児マヒを起こします。

現在、日本では子供が生まれると、生後3ヶ月から48ヶ月の間にポリオのワクチンを飲むことになっています。生ワクチンは生きているウィルスであり、感染する能力があります。だがウィルスの培養を何回も繰り返す方法で弱毒化しています。体内に入ったウィルスは腸の細胞に感染して新しいウィルスが増殖を始め、こうして生ワクチンを飲んだ子供に免疫力のある抗体ができあがります。

しかも、大人になってもお腹の中で、このポリオウィルスを飼い続けていますから、死ぬまで強い免疫力が備わることになります。

現在、使用されている経口ワクチンはアメリカのウィルス学者A・セービンが猿の腎細胞でポリオウィルスを培養、弱毒化したもので、神経では増殖できない無毒のポリオウィルスであり、腸で増えている限りはマヒが起こらずに一番いい免疫力だけを保持することが出来ます。

このように日本をはじめ先進国でポリオはほとんど制圧されましたが、いまだにアフリカ・南西アジアを中心に年間20万人以上もの患者が発生しています。しかしポリオウィルスは人間にしか感染しないうえ、有効なワクチンもあります。このことからポリオ根絶は充分可能であり、実現されれば、天然痘の根絶宣言(1980年)に次ぐ、対ウィルス戦争での人類2番目の快挙となります。

西暦2000年までにポリオの発症を根絶し、西暦2005年には、根絶宣言と共に、ロータリーの100周年を総てのロータリアンと共に祝いたいと熱望しています。

私達世代が、子供や孫たちに残せる一番大切な遺産は、21世紀も人類が安全に生存できるシナリオを、今日より書き始めることだと確信しています。





特別寄付報告書（1996年8月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会

理事長 末 永 直 行

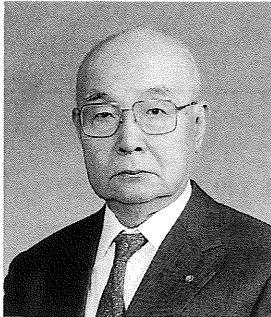
2760地区

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件数
安 城	0	1,240,000	0	1,240,000	30件
碧 南	0	150,000	0	150,000	1 件
名 古 屋	0	90,000	460,000	550,000	17件
名 古 屋 北	0	150,000	0	150,000	1 件
名 古 屋 港	0	300,000	0	300,000	1 件
名 古 屋 中	0	1,620,000	0	1,620,000	54件
名 古 屋 錦	0	200,000	300,000	500,000	2 件
名古屋大須	200,000	0	0	200,000	1 件
名 古 屋 栄	0	720,000	0	720,000	24件
名古屋東南	0	150,000	0	150,000	1 件
岡 崎	0	40,000	0	40,000	4 件
岡 崎 東	156,155	0	0	156,155	2 件
岡 崎 南	0	50,000	0	50,000	1 件
豊 橋	0	300,000	0	300,000	1 件
豊 橋 北	12,000	60,000	0	72,000	3 件
津 島	0	330,000	0	330,000	2 件
計	368,155	5,400,000	760,000	6,528,155	

1996～'97年度 第1回地区国際奉仕委員長会議

日時／平成8年9月6日(金)

会場／名古屋都ホテル



地区国際奉仕委員会
委員長

吉村 卯一郎

本年度の国際ロータリー第2760地区第1回国際奉仕委員長会議は、9月6日14時から16時までの間2時間にわたり、出席者は松本ガバナー、内田地区幹事をはじめ27名の特別出席者と、地区内75クラブの国際奉仕委員長のうち72名のご参加を得て開催されました。

(会議の内容)

司 会 地区国際奉仕委員会
副委員長 松原忠久

(1) 開会の挨拶 (要旨)

地区国際奉仕委員会
委員長 吉村卯一郎

地区国際奉仕委員会は青少年交換、世界社会奉仕(W・C・S)国際友好の3つの小委員会を束ねて運営されています。青少年交換委員会は国際理解と親善を推進する目的で、成長期の若者を外国へ出して、その国の事情や考え方を学んでもらい、その一方で日本へ来る若者には、日本の国情を知り理解を深めてもらい、国際友好の地盤を作る大切な役目を背負ってもらうものです。

世界社会奉仕委員会(WCS)では、従来からフィリピン、タイ両国の友好クラブを通じて奨学資金の贈与や、その他のプロジェクトへのドネーションを行ってきているが、今後は飢餓貧困よりも奨学資金関係にウェイトを置いた方が良いのではないかと考えている。

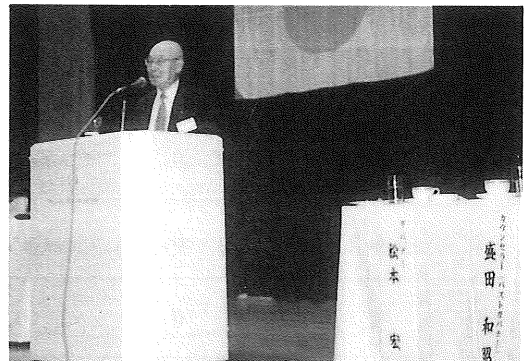
国際友好委員会はロータリアン同志の親睦活動を通じて世界平和、世界理解に貢献しようと

するための資料づくりをしたり、手助けをしたりするものですが、これらの姉妹提携、友好提携は今後の密接度が大切であると思われます。

(2) ガバナー挨拶 (要旨)

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 松本 宏

本年度のジアイRI会長は“BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION、”というテーマを掲げられましたが、このテーマの一つの大きなポイントは21世紀を目指して新しいビジョンを作り上げたいということです。そしてみんなでニュー・ゼネレーションを切り開いていこうということを述べておられます。私達ロータリアンは煉瓦の一つひとつ積み上げることによって、未来を作っていこうと強調され、それにはまずアクションを起してほしいと



要請しておられます。しかもこのアクションはただの行動ではなくてパワフルなアクションにするよう述べておられます。

地区の国際奉仕委員会は青少年交換、WCS、国際友好の三つが一体となって活動しております。どうか本年度一年これらの問題に取り組んでいただきますことをお願いします。

(3) 青少年交換委員会の本年度運営方針

地区青少年交換(小)委員会

委員長 林 光雄

今年度は7月末に来年度即ち1997～'98年度の派遣学生の募集を締切り、8月3日にテストお



よび面接を行って候補生を決定した。派遣相手国は従来はアメリカ、カナダ、オーストラリアの3ヶ国だったが、今年度からはブラジル、フィンランドの2ヶ国を加えた。

当委員会として、一番気を使っていることは、高校生といってもやはりまだ子供であるので、派遣学生が何の事故もなく、1年間無事勉強して相手国の文化を吸収して帰国するということである。

(4)世界社会奉仕委員会の活動状況並びに本年度運営方針について

地区世界社会奉仕委員会

委員長 鶴田欣也

WCS委員会の活動はロータリーの国境を越えた奉仕活動で、当地区としては、フィリピンのマニラ第3800地区、第3810地区及びタイのチェンマイ第3360地区と交流している。

活動内容は次の5つに分類される。

- ①飢餓貧困に対する援助
- ②生活環境整備に対する援助
- ③職業訓練所により技術、技能習得の援助
- ④栄養不良児に対する食糧援助
- ⑤その他各プロジェクトの援助

これ以外にフィリピンで「愛知奨学基金」、タイでは「日タイ奨学基金」の奨学金制度（それぞれ1,000万円の基金）が設けられ、一部では寄贈完了、一部は現在基金積立中である。

尚地区委員会ではWCS活動は基本的には各クラブで独自にされることを望んでいる。

毎年2月上旬に行っているフィリピン、タイへの視察旅行は、今年度は来年2月21日、22日にフィリピンに於て地区大会が開催されるのに合わせて、フィリピンへは2月21日～24日、タイへは2月20日～24日の実施を予定している。

(5)国際友好委員会の本年度運営方針について

地区国際友好委員会

委員長 中野博三

昨年度の第2回国際奉仕委員長会議（1996年3月）で配布したアンケートの調査結果を再配布した。

今年度の方針は次の通りである。

- ①毎年実施のアンケート調査は見合わせる。
- ②先年度行ったアンケートで当委員会への要望事項（詳細は資料マニュアルの作成）について更に検討する。
- ③趣味別、職業別親睦活動への対応として、近く資料「親睦活動を見つけよう」を各クラブへ送付する。
- (6)各クラブの1995～'96年度国際奉仕活動に関する報告並に今後の運営について

各クラブから以下の事項について計画の説明および推進に関する質問があり、関連委員長や委員から回答や指導が行われた。

- 〈知多ロータリークラブ〉
タイで子供たちへの給食用としての鶏舎の建設。タイでの中学生への奨学金制度の調査及検討。
- 〈奥三河ロータリークラブ〉
スリランカに幼稚園を建設寄贈
- 〈豊田三好ロータリークラブ〉
ウルグアイへ消防自動車に続く救急車の寄贈
- 〈新城ロータリークラブ〉
姉妹提携クラブ、韓国大邱クラブとの交流について
フィリピン・ミンドロ島への援助成果の確認について
中国・青島空港への便所寄贈について
アメリカ・アラモとの交流について
- 〈名古屋名南ロータリークラブ〉
カナダとの間で青少年交換を実施
WCS関係プロジェクトの資料を希望
- 〈和合ロータリークラブ〉
パラオへ寄贈のソーラーシステム補修の実施について
パラオ・ロータリークラブとの提携問題について
- 〈高浜ロータリークラブ〉
交換留学生受入れに際しての言葉の問題について
- 〈名古屋名北ロータリークラブ〉
姉妹提携と友好提携の意味について



(7) 講 評

地区国際奉仕委員会カウンセラー

パストガバナー 盛田和昭

鶴田WCS委員長からWCSは各クラブで独自に積極的にやるよう強調されたが、ロータリーの基本はそこにある。ロータリーは、まず各個のクラブがあって、それがRIと直結しているのである。従って、地区が主導するのではなく、個々のロータリークラブが活発に活動していただくのが好ましい。

各クラブにおいても、クラブ全員で奉仕活動

に参加すべきで、委員長だけでなく各委員がなるべく仕事を分担して委員会全体で活動するようにしてほしい。

(8) ホストクラブ会長挨拶

名古屋北ロータリークラブ

会長 遠藤友彦

(9) 閉会の挨拶

地区国際奉仕委員会

副委員長 松原忠久

第2760地区ニュース・その他

第2回地区諮問委員会（9月7日）開催

＜協議事項＞

- 1、1995～'96年度 地区会計決算(案)承認の件
- 2、1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区ガバナー候補推薦の件
- 3、1997～'98年度(犬飼年度)分区代理候補推薦の件
- 4、1996～'97年度 地区大会R.I.会長代理エイドの件
- 5、1996～'97年度 地区大会決議事項(案)
- 6、ポール・ハリス没後50周年記念事業委員会の件
- 7、(財)米山梅吉第II記念館建設計画の件
- 8、1998年規定審議会に対するクラブの代表議員および補欠代表議員の件
- 9、次年度地区リーダーシッププランについて

＜報告事項＞

- 1、地区大会 R.I.会長代理 呉在璟氏のプロフィール
- 2、地区大会 プログラム(案)
- 3、地区大会 各クラブ配布用パンフレット
- 4、米山記念奨学会理事会及び評議員報告について
- 5、第1回 地区運営効率化委員会
- 6、第2回 地区運営効率化委員会
- 7、第3ゾーン会員増強セミナーの報告について
- 8、国際ロータリー「超我の奉仕賞」について
- 9、ゴールデンセンチュリー賞について

10、ロータリーゴルフ大会について

11、地区主要会議日程について(9月～12月予定)

新ポールハリスフェロー 8月分

氏 名				所属R.C.	
川	口	信	義	(あ	ま)
佐	竹		敦	(津	島)
安	江	弘	之	(津	島)
杉	浦	功	哲	(碧	南)
鳥	居		拓	(碧	南)
鈴	木	靖	国	(碧	南)
石	川	春	久	(碧	南)
杉	浦	成	人	(碧	南)
杉	浦	康	宏	(碧	南)
浅	若	高	節	(刈	谷)
野	々	上	熹	(半	田)
児	玉	良	博	(名古屋南)	
横	井	信	子	(名古屋南)	

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

三宅重光様(名古屋R.C.)	9月7日
千賀 勉様(蒲郡R.C.)	9月7日
富岡健一様(豊橋R.C.)	9月29日
余合成夫様(名古屋南R.C.)	9月30日

名古屋東山ロータリークラブ創立総会

名古屋東山ロータリークラブは96年9月19日、ホテル ルブラ王山で創立総会を開催した。松本ガバナーを始め地区役員の皆様並びにスポンサークラブである名古屋和合ロータリークラブの石原会長他役員の方々、犬飼ガバナーノミニ、蜂谷パストガバナーの御臨席を得て、相羽特別代表が議長となり定款細則など諸議案を採択し、無事終了した。東山クラブ是和合クラブの25周年記念事業として設立され、2760地区では76番目、名古屋では22番目のクラブであり、平均年令は48才。40才代が68%を占める若々し

いクラブである。創立会員は47名であるが97年3月25日キャッスルで行われるチャーターナイトまでには60名にしたい、とのことである。

新クラブ概要

名 称 名古屋東山ロータリークラブ
 役 員 特別代表 相羽鋳一、会長 古谷 翹、
 幹事 松野一彦
 例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分
 例会場 ホテル ルブラ王山
 (名古屋市千種区覚王山通8-18 TEL762-3151)
 事務局 名古屋市千種区覚王山通8-24
 覚王山グランド井筒401号室
 TEL762-3458 FAX762-3484



文庫通信

(第109号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

日本のロータリアンによる一般著書 その2
 ◎「人間を考えるー新しい人間観の提唱」松下幸之助 1972年 231頁

[申込先 PHP研究所 TEL(03)3239-6221]

◎「思い出すまま」宮脇 富 1972年 165頁
 [申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

◎「百冊之本」佐藤千壽 1974年 238頁

[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

◎「三楽」直木太一郎 1976年 166頁

[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

◎「誠明詩稿」塚本義隆 1979年 57頁

[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

◎「人間 その無限の可能性」平澤 興 1980年 387頁

[申込先 新潟日報事業社 TEL(025)233-2131]

◎「松下幸之助「一日一話」ー仕事の知恵・人生の知恵」PHP研究所編 1981年 221.8頁

[申込先 PHP研究所 TEL(03)3239-6221]

◎「イギリスの弁護士制度 (バリスターとその養成)」湯浅恭三 1985年 45頁

[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

◎「地球は今 そして未来は」伊藤逸夫 1990年 197頁 [申込先 伊藤逸夫 TEL(0898)64-2384]

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3abc館7階 TEL(03)3433-6456/FAX(03)3459-7506
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'96年 7月1日	当 月	増 減					'96年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	97.16	3	47	47		西 尾 張 分 区	あ ま	100.00	3	104	104	
	半 田	100.00	4	74	74			尾 西	98.01	4	63	63	
	半 田 南	100.00	3	68	69	1		一 宮	99.72	4	92	95	3
	東 知 多	100.00	4	62	66	4		一 宮 北	99.13	4	85	87	2
	常 滑	100.00	4	70	71	1		稲 沢	96.84	3	65	65	
	東 海	98.36	3	61	63	2		西 春 日 井	100.00	3	61	62	1
	計	99.25	—	382	390	8		尾 張 中 央	97.90	3	50	50	
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	98.50	3	222	230	8	東 三 河 分 区	津 島	100.00	4	89	90	1
	名 古 屋 南	99.08	3	121	120	－1		一 宮 中 央	93.20	5	72	74	2
	名 古 屋 港	100.00	4	130	131	1		計	98.31	—	681	690	9
	名古屋瑞穂	100.00	4	104	104			渥 美	92.97	3	63	66	3
	名 古 屋 中	100.00	3	160	160			蒲 郡	96.84	4	78	79	1
	名 古 屋 西	98.16	4	143	144	1		奥 三 河	93.12	5	38	41	3
	名古屋大須	99.49	4	96	99	3		新 城	92.65	4	68	68	
	名古屋名南	100.00	3	84	86	2		田 原	100.00	4	73	73	
	名古屋名駅	97.67	3	102	102			豊 橋	99.15	4	132	132	
	名古屋東南	98.76	4	84	90	6		豊橋ゴールデン	100.00	4	84	83	－1
	名 古 屋 栄	98.38	3	83	83			豊 橋 北	99.69	3	116	119	3
名 古 屋 第 二 分 区	名古屋西南	99.53	4	52	53	1	西 三 河 第 一 分 区	豊 橋 南	99.43	3	68	68	
	計	99.13	－	1,381	1,402	21		豊 橋 東	100.00	3	32	32	
	名古屋千種	97.55	4	68	70	2		豊 川	98.55	3	82	82	
	名 古 屋 東	97.93	3	113	114	1		豊 川 宝 飯	91.80	3	68	68	
	名 古 屋 北	99.05	4	115	119	4		田原パシフィック	98.68	4	76	76	
	名古屋名北	99.50	3	67	68	1		計	97.14	－	978	987	9
	名古屋名東	99.60	3	84	84			岡 崎	99.31	3	117	118	1
	名古屋守山	97.10	4	84	84			岡 崎 東	99.66	4	83	89	6
	名古屋昭和	98.15	3	72	73	1		岡 崎 城 南	100.00	3	76	78	2
	名古屋和合	100.00	3	110	109	－1		岡 崎 南	99.02	4	113	114	1
	名 古 屋 錦	97.74	3	60	59	－1		豊 田	100.00	4	98	97	－1
東 尾 張 分 区	計	98.51	－	773	780	7	西 三 河 第 二 分 区	豊 田 東	100.00	3	91	94	3
	犬 山	100.00	3	78	81	3		豊 田 西	100.00	3	105	105	
	岩 倉	92.68	3	41	41			豊 田 三 好	100.00	3	32	34	2
	春 日 井	100.00	4	83	83			計	99.75	－	715	729	14
	小 牧	100.00	3	68	69	1		安 城	99.00	4	91	92	1
	江 南	99.10	5	73	76	3		碧 南	99.60	3	83	85	2
	名古屋空港	99.50	3	65	67	2		一 色	100.00	4	52	52	
	尾 張 旭	100.00	5	70	70			刈 谷	100.00	3	92	92	
	瀬 戸	99.58	3	78	82	4		知 立	100.00	3	54	57	3
	瀬 戸 北	100.00	3	70	70			西 尾	96.62	3	76	78	2
	豊 山 城 北	98.89	3	60	60			西尾 KIRARA	100.00	4	70	69	－1
計	98.96	－	686	699	13	高 浜	98.74	3	54	55	1		
								計	99.25	－	572	580	8
地域内クラブ数				75RC	'96. 7. 1 会員数		6,168名	増 加 会 員 数		95名			
					当月末会員数		6,257名	減 少 会 員 数		6 名			
					当月平均出席率		98.79%	差引純増会員数		89名			